

史跡 池辺寺跡 保存整備基本構想書



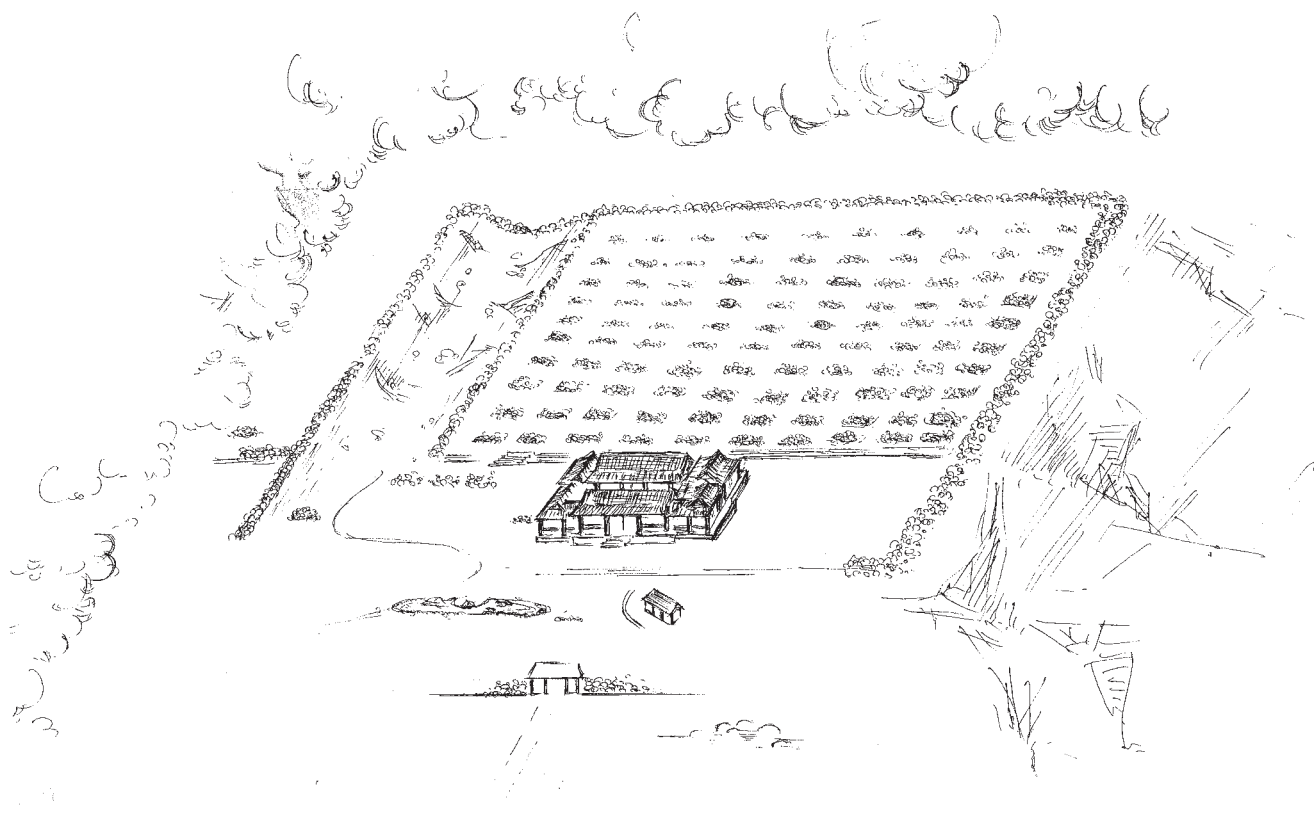
池辺寺縁起絵巻（一部）



百塚地区全景（北東から）

平成20年2月
熊本市教育委員会

史跡 池辺寺跡 保存整備基本構想書



平成20年 2 月

熊本市教育委員会



百塚地区C地点（上空から）



百塚地区C地点礎石建物群（上空から）



百塚地区C地点S D-01



金子塔

は じ め に

熊本市は九州のほぼ中央に位置し、美しい緑と豊富な地下水に恵まれ発展してきた都市で、数多くの歴史遺産・文化遺産を有しています。中でも熊本市の西部に位置する池辺寺跡は、平安時代初期の山岳寺院として全国的にも注目される貴重な遺跡です。

池辺寺跡は、昭和61年度より国の補助を受け、熊本市教育委員会によって発掘調査が開始され、百塚地区に整然と並ぶ百基の石塔や塼敷きの本堂を中心とした礎石建物群などが見つかりました。その遺構は大規模かつ個性的な構造と良好な保存状態が高く評価され、平成9年度に国史跡に指定されました。その後の調査では、隣接地に庭園跡などが見つかり、平成13年度には追加指定がなされています。さらに最近の調査により、関連施設が山中に広く点在していることが確認され、現在でも発掘調査が続いているところです。

そして約20年に及ぶ発掘調査成果を基に、史跡池辺寺跡の恒久的保存と活用を図るため、平成17年度より「史跡池辺寺跡保存整備検討委員会」を設置し、整備基本構想策定のための検討を重ねてまいりました。

この構想書は史跡池辺寺跡の今後のあるべき姿を示したものであり、整備事業は、短期・中期・長期整備に分けて実施していく計画でございます。池辺寺跡は広域で、また長期にわたる事業であるため、今後とも関係者の皆様のご協力とご理解が不可欠でございます。本構想の趣旨をご理解いただき、ご支援くださいますようお願いいたします。

最後になりましたが、調査にあたって、地域の皆様方にご協力とご理解をいただき、深く感謝を申し上げますとともに、構想書策定にご尽力くださいました史跡池辺寺跡保存整備検討委員会委員の皆様をはじめ、文化庁記念物課・熊本県教育庁文化課並びに関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

平成20年 2 月

熊本市教育委員会
教育長 小 牧 幸 治

目 次

構想の策定にあたって

1 策定の背景と目的	1
2 池辺寺跡の概要	3
(1) 池辺寺跡の概要	3
(2) 池辺寺跡の位置	3
(3) 史跡指定と保存整備検討委員会の発足	4

基本構想

I 全体の基本方針	8
II 保存管理方針	8
1 指定地の保存管理	8
(1) 遺構が存在する区域	9
(2) 遺構が存在しない区域	9
2 周辺環境の保存と追加指定	14
III 整備の基本方針	15
1 整備の基本的な考え方	15
(1) 遺跡・環境の保存	15
(2) 整備方法	15
2 区域別の整備	15
(1) 既存指定地	15
(2) 追加指定地	15
(3) 未指定地	16
3 段階的な整備	16
(1) 短期整備【百塚地区C地点の整備】	16
(2) 中期整備【百塚周辺地域の整備】	16
(3) 長期整備【池辺寺跡の総合的整備】	16
IV 整備の具体的な進め方	17
1 短期整備	17
(1) 遺構の保存と展示	17
(2) 整備にあたっての留意点	17
(3) 便益・案内施設の設置	17
2 中・長期整備	18
(1) 中期整備（百塚周辺地域の一体的整備）	18
(2) 長期整備（池辺寺跡の総合的整備）	18
V 管理・運営	21
1 連絡調整	21
2 整備後の活用と管理運営	21

資料編

I	池辺寺跡の諸環境	29
1	自然的環境	29
	(1) 熊本市の位置と地勢	29
	(2) 熊本市の気候	29
	(3) 池辺寺跡周辺の地形と地質	29
	(4) 池辺寺跡周辺の植物と動物	29
2	社会的環境	30
	(1) 熊本市の人口	30
	(2) 熊本市の交通	30
	(3) 熊本市の観光	30
	(4) 熊本市の上位計画・関連計画	30
	(5) 関連法規	31
3	歴史的環境	31
	(1) 池辺寺跡周辺の遺跡	31
	(2) 池辺寺跡に関連する周辺の文化財、名所・旧跡など	36
	(3) 石造物・仏像・寺宝など	36
II	池辺寺跡の調査成果	38
1	遺構	38
	(1) 百塚地区C地点	38
	(2) 百塚地区A地点	42
	(3) 百塚地区B地点	42
	(4) 烏帽子地区	44
	(5) 金子塔地区	47
	(6) 前原地区	47
	(7) 平居屋敷地区	49
	(8) 堂床地区	49
	(9) 馬場上地区	51
	(10) 来迎院地区	51
	(11) 東平山地区	52
	(12) 池の上地区	52
	(13) 独鈷山	52
	(14) 味生池	53
2	遺物	53
	(1) 土器	53
	(2) 瓦	55
	(3) 重要遺物（古代）	55
III	文献一覧	58

例 言

- 本書は、熊本県熊本市池上町に所在する史跡池辺寺跡の保存整備基本構想を策定した報告書である。
- 本構想の策定は、熊本市教育委員会が委嘱した「史跡池辺寺跡保存整備検討委員会」および文化庁文化財部記念物課、熊本県教育庁文化課の指導のもと、熊本市教育委員会が実施した。
- 史跡池辺寺跡保存整備検討委員会の委員、および指導機関と事務局の職員は以下のとおりである。

委員	委員長	小田富士雄	福岡大学名誉教授（考古学）
	委員	坂上康俊	九州大学大学院人文科学研究員教授（古代史学）
		佐々木邦博	信州大学農学部教授（造園学）
		澤村 仁	九州芸術工科大学（現九州大学）名誉教授（建築学）
		西山徳明	九州大学大学院芸術工学研究員教授（都市計画学）
指導	文化庁文化財部記念物課		
		本中 眞	記念物課主任調査官（名勝部門）
	熊本県教育庁文化課		
事務局		帆足俊文	文化課主任学芸員
	熊本市教育委員会		
		永山 博	教育長（平成17・18年度）
		小牧幸治	教育長（平成19年度）
		奈須悦雄	生涯学習部長（平成17年度）
		木村朝男	生涯学習部長（平成18年度）
		杉原青史郎	生涯学習部長（平成19年度）
		今村康彦	文化財課長
		兼武長人	文化財課長補佐（平成17年度）
		宮崎純一	文化財課長補佐（平成18・19年度）
		宮崎由之	文化財課埋蔵文化財係長
		竹田理恵	文化財課主事（平成17年度）
		鬼塚直子	文化財課主事（平成18年度）
		辻 千津子	文化財課参事（平成19年度）
		大城康雄	文化財課主任文化財保護主事
		美濃口雅朗	文化財課主任文化財保護主事
		網田龍生	文化財課主任文化財保護主事
		金田一精	文化財課文化財保護主事

- 本書は、原案を熊本市教育委員会が立案し、史跡池辺寺跡保存整備検討委員会で内容を審議したものに、熊本市教育委員会が資料を加えて編集し、作成したものである。
- 本構想の策定に係る事務は、熊本市教育委員会生涯学習部文化財課がおこなった。